

すこしずつ前へ

二学年委員長 遠藤 卓也

葵高校の門をくぐってから早三年。楽しかったこと、辛かったこと、嬉しかったこと等思い出が走馬灯のように浮かんでいることでしょうか。また、新しい生活への期待で胸を弾ませていることでしょうか。この先、皆様の前途には素晴らしい未来が待っているはずですが、その道は決して平坦なものばかりではありません。でも：

『すこしずつで大丈夫！』

『人と比べなくても大丈夫』
少しづつでも確実に前へ進むことを大切にして下さい。皆様には一人一人が無限の可能性を秘めた人々です。葵高校でめぐり会った人々たちの「絆」を生涯の宝とし、信念を持って未来を切り拓いていって下さい。新たな門出を祝福するとともに更なる活躍を願って卒業のお祝いとします。



輝かしい未来に向かって

一学年委員長 小林美保子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

高校生活では思い切り泣いたり思い切り笑ったり、まさに青春の思い出として今は振り返ることができる三年間だったと思います。また、苦難に悩み、じつくりと深く考えた時、今まで見えなかった事が見え、解らなかったことが理解できたりと、「気づき」も多くあった三年間でもあったと思います。

今までの経験は間違いなくこれからの新しい生活において大きな支えや前に進むための力になります。そして、親兄弟、友、恩師など助けてくれる方々も近くにいます。自信を持って夢や希望に向かって進んで下さい。

皆さんの未来が豊かで実りある幸多きものになりますよう心からお祈りいたします。



修学旅行の思い出

十月九日(月)から十二日(木)まで二年生が関西方面に修学旅行にいきました。

